

## 令和3年第1回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症クラスター対応介護・障害福祉施設慰労金・支援金支給事業」について申し上げます。

市内の感染者数は、病院や高齢者施設での集団感染、いわゆるクラスターの発生などもあり、2月14日現在で累計ですが、246名の感染者となり、特に緊急事態宣言が発令された1月8日からの新規感染者数は、121名となりました。

この高齢者介護施設でのクラスター発生においては、感染拡大の影響により、新規感染者を受入れる医療機関がなかったことから、施設内で陽性者を介護・看護するという、差し迫った状況となりました。感染リスクが高い中、施設の職員の方々は、強い使命感を持って業務に従事され、介護サービスの提供を続けてこられました。先週の金曜日、2月12日にクラスターは収束しましたが、発生から収束を迎えるまでの1カ月以上、非常に厳しい状況が続く中、対応にあたられた方々に、心から感謝を申し上げます。

市では、このような状況を受け、クラスターが発生した施設において、陽性者を介護・看護した施設職員に対して慰労金を給付するほか、当該施設を運営する事業者に対しても、感染対策に要した経費などに対し、支援金を交付するため、今議会に補正予算を提案したところでございます。

職員への慰労金については、クラスター発生後、新型コロナウイルス感染症の陽性者を、介護・看護した職員に、10万円、その他の職員には、3万円を給付し、また、

対象施設を運営する事業者に対する支援金については、一律で30万円を支給することとしています。

市は、これまで高齢者介護施設等の職員がおこなうPCR検査についても補助を行うなどの支援策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症に対し、必要な医療体制が提供できない現状において、国、県などの動向を踏まえながら、引き続き、必要な対策を講じてまいります。

続きまして、「大塚製薬株式会社との包括連携協定の締結」について申し上げます。

今週の2月17日に、市と大塚製薬株式会社は、地域の活性化及び市民サービスの向上を図るため、包括連携協定を締結することとなりました。

大塚製薬株式会社は、「市民のより豊かで健康な暮らしに貢献する」という企業理念に基づき、毎年、多くのランナーが参加する「白井梨マラソン大会」に、長きにわたり協賛していただき、スポーツ振興の分野で特に協力をしていただいております。また、同社はこれまで、県内21市町と連携協定を締結しており、製品の研究開発などで培った専門的な知見やノウハウなどの強みを生かし、各地域で市民の健康づくりやスポーツ振興など、官民連携の取り組みを進めております。

今回、この包括連携協定を締結することにより、市と同社との連携をより強化し、相互の資源を有効に活用しながら、熱中症対策やスポーツをはじめ食を通じた健康づくり、災害時の協力など、様々な取り組みを協働で展開してまいります。

最後に、「市制施行20周年について」申し上げます。

本市は、平成13年4月1日に県内32番目の市として誕生し、令和3年4月1日に市制施行20周年を迎えます。

そこで、新年度に、「市制施行20周年記念式典」など20周年を記念する事業を開催するとともに、例年開催している事業に20周年の名を付し、冠事業とするなど、20周年を祝し、広く周知、PRに努めてまいります。

記念事業としては、白井駅と西白井駅に、本来の駅名とは別に通称として名付ける梨にちなんだ副駅名を設置します。これについては、記念事業であると同時に、市の知名度アップや、農業振興を図るとともに、後期基本計画「駅周辺地域活性化事業」のキックオフとなる事業にも位置づけております。設置にあたっては、副駅名を市民から募集し、費用については、クラウドファンディングを活用し、市内外の方から広く寄附金を募集することとしています。

なお、記念式典については、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、開催についての決定をしていまいりたいと考えております。

以上で諸般の報告を終わります。